

## リハ工学協会 H.C.R. 出展の 15 年

the Light on Design Project 金井 謙介

(一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 前事業統括理事)

## 1. はじめに

2019年9月に開催された第46回国際福祉機器展 H.C.R.2019 への出展をもって、当協会の同展示会への出展が15回を迎えた。それを記念して同展示会場において感謝状贈呈式が行われ、当協会からは石濱理事が出席された(図1)。



図1 感謝状盾

## 2. 出展の経緯

1990年代に当協会がH.C.R.に出展していた時期があったと聞いているが、出展を取りやめた経緯などについて筆者は把握できていないため、その後の現在につながる出展の経緯について書きたい。

筆者は2005年に福祉機器コンテスト担当理事になったが、その前年の2004年からこれまで全国のリハセンター等で行っていた受賞作品展示をH.C.R.等の福祉機器展で行うことに変更になった(コンテスト事務局員として筆者も関わっている)。福祉機器に関心のある方が多く集まる福祉機器展で展示をすることで、「優れた作品を広く知らしめる」という本コンテストの目的をより達成することを意図したのが始まりであった。また、作品展示だけでなく表彰式も一緒に執り行うことで、H.C.R.での展示と表彰という受賞メリットが特に中小企業や学校関係者にとって大きな応募動機となっている。

このように当初はコンテスト事業として出展していたが、来場者から当協会自体に関する質問などが多く寄せられたため、単独事業ではなく協会全体の広報事業として位置づけ、出展社セミナーを開催するなど協会PRの場として発展させてきた。15年継続出展していることで認知度も徐々に高まり、当協会出展物を目当てに来場される方が増えたり、受賞作品が海外メーカーを含む他の企業の目に留まり、中には商談にまでつながったケースなども出ている。また、ブースが会員同士や関連企業との交流の場にもなるなど、さまざまな効果が見られている。

## 3. さいごに

当協会の役割はこの分野・領域の普及・発展に寄与することであり、会員その他にさまざまな場や機会を提供することにある。その1つとしてH.C.R.等への出展があり、上記のような成果も見られている。出展の費用負担はあるが、設立目的の達成や社会的認知度の向上、会員獲得等のためには、このようなアウトリーチ型アプローチも重要だと考えている。

the Light on Design Project

〒581-0834 大阪府八尾市萱振町1-16-1-703